碁笥

〔人倫訓蒙圖彙二〕圍碁〇中略　磐を造る所は、二條通麩屋町の西、久右衛門、四條通堀川筋、大坂天滿天神の裏門右、川原町通、三條下ル二丁目に有、江戸磐作所、南傳馬町、乘物町、新兩替町、

〔江戸鹿子六諸職名匠諸商人〕碁盤師

南傳馬町一丁目　庄九郎　通乘物町　清左衛門　新兩かへ町四丁目　加兵衛

〔增補下學集下二器財〕碁笥ゲ

〔和爾雅五嬉戲具〕碁奩ゴゲ

〔書言字考節用集七器財〕碁奩ゴゲ又作碁笥

〔名物六帖器財三蹋鞠博弈〕棋籃ゴゲ遵生八牋　圍棋礶ゴゲ子同上、圍棋礶子、近日永嘉以藤編爲礶、

〔倭訓栞中編八古〕ごけ　南都正倉院所藏の碁笥は、碁盤の足に抽匣ヒキダシをして、龜の形に石を入たり、足も箱ざしにして梔子形ならず、

〔東大寺續要錄寶藏〕勅封藏開撿目錄　中藏〇中略　椙辛櫃五十八合〇中略　一合納香納一具銀手洗一口圍碁笥等〇中略　建久四年八月廿五日

〔本因坊家略紀下〕本因坊筭砂出生京都

天正の頃、京都に本因坊と云僧有、碁將棊共に能す、〇中略太閤〇豐臣秀吉より金梨子地菊桐の紋付たる碁笥を給る、形は平目にして鉢の子の如し、今に本因坊家に在、不形なる物なり、

〔視聽草六集九〕碁道珍話

本因坊寶物

一碁笥　一對但金梨地菊桐之御紋あり、禁中樣より拜領之由、　一同　一對梅に鶯の模樣、內朱、信長公より拜領、　一同　一對堆朱、金葵御紋有、　一同　一對一は櫻の模樣、近衛殿より拜領、一は紅葉の模樣、鷹司樣より拜領、

〔枕草子九〕心にくき物　夜いたう更て、人のみなねぬるのちに、とのかたにて殿上人など物いふ